

令和3年度 事業報告

1 概況

国の経済報告によると、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、景気は、依然として厳しい状況にあり、雇用情勢も、引き続き弱い動きとなっているとされている。

このような中、本センターの令和3年度受注状況に関しても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度に引き続き、厳しいものとなった。

まず、請負契約では、受注件数は、17,113件となり、前年度に比べ401件、2.3%の減少、受注金額は、529,372千円となり、前年度に比べ3,522千円、0.7%の増加となり、何れも感染拡大の影響を受けた前年度並みとなった。

一方、派遣事業では、受注件数は、1,018件となり、前年度に比べ10件、1.0%の減少と、前年度並みとなったものの、受注金額は、選挙業務への派遣があったこともあり、103,372千円となり、前年度に比べ2,053千円、2.0%の増加となり、これを前述の請負契約にかかる実績に加えた本センター全体の受注状況で見ると、受注件数は、18,131件となり、前年度に比べ411件、2.2%の減少、受注金額は、632,744千円となり、前年度に比べ5,575千円、0.9%の増加と、何れも、概ね前年度並みとなり、依然として感染拡大の影響を受けている状況となった。

会員数については、これまでの継続雇用制度の運用や幅広い産業での深刻な人手不足の影響などに加え、企業での70歳までの雇用の努力義務化や、感染拡大の影響も受け、令和3年度末で1,518人、前年度末に比べ80人、5.0%減少した。

会員の確保策としては、表彰制度の運用拡大による1人1会員入会運動の推進、入会時期に応じた初年度年会費の減額制度やゴールド会員制度の運用など、コロナ禍後を念頭に施策の推進に取り組んだ。

また、国の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の活用や、高年齢者雇用安定法に基づく派遣事業の拡大措置の有効活用にも努めた。

一方、感染拡大防止の視点から、昨年度に引き続き、街頭啓発活動などの周知・啓発活動を中止するなど、就業機会の拡大に向けた取組などに、感染拡大の影響を受けた。

安全就業に関しては、例年開催している安全講習会を中止したものの、感染防止対策を徹底する中で、安全パトロールや草刈・剪定講習会を実施するとともに、飛散防止ネットなどの安全対策用具の整備・普及や、事務局だよりなどを通じた安全就業の周知・啓発にも努めた。

一方、令和3年度シルバー保険適用の傷害・損害賠償事故件数が例年に比べ大幅に増加したことから、事故当事者等にヒアリングを実施するなど、事故の分析、安全意識の高揚に向けて取り組んだ。

適正就業に関しては、就業先への定期的な巡回調査を実施するとともに、就業機会の公平化・均衡化を推進するなど、会員の適正就業の推進に努めた。

併せて、事業者として、飛沫感染・接触感染の防止対策を講じるとともに、会員に対して、「三密」の回避やマスク着用、手指消毒の徹底などを周知・啓発するなど、感染防止対策に取り組むほか、派遣労働会員の派遣先労働者との同一労働・同一賃金を推進するなど、公益社団法人として適正な事業運営に努めた。